

日 絹 月 報

令和4年8月号 第531号

発行：一般社団法人日本絹人織織物工業会
日本絹人織織物工業組合連合会
Tel 03-5244-4243
URL <http://www.kinujinsen.com>

本号の主なニュース

1. 当会のJFW-JC2023出展公募結果
2. 中小企業のデジタル化に役立つ情報をワンストップで紹介！ポータルサイト『みらデジ』をオープン
3. 第143回通商問題委員会の開催
4. 2022年9月の「価格交渉促進月間」の実施について
5. 2022年度織布運転技能審査試験の募集

◇ 当会のJFW-JC2023出展公募結果 ◇

全国の繊維産地・企業が一堂に集結する国内唯一の繊維総合見本市である「JFW-JC2023」が、11月1日（火）～2日（水）に有楽町の東京国際フォーラムで開催される。東京国際フォーラムを会場に、テキスタイル・ビジネス商談会「PTJ」を併催して、相乗効果による多くの来場者を見込む。

当会では、絹・合織織物の普及を目的とした「展示会出展支援事業」として、「JFW-JC2023」に展示スペースを確保し、日本独自の絹織物や高機能性を有する合織織物を国内外にアピールするため、出展希望者を当会ホームページにより広く募集を行なった。その結果、参加希望企業数は本年も増加を遂げ、17産地組合・107企業に対して出展支援することとなった。

また、前年と同様に出演者説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止及び健康・安全確保の観点から開催を見送り、会場レイアウト等は事務局にて決定し、会場レイアウト及び出演者マニュアル等を7月下旬に送付した。

◇ 中小企業のデジタル化に役立つ情報をワンストップで紹介！ポータルサイト『みらデジ』をオープン ◇

令和4年7月11日
経 済 産 業 省
中 小 企 業 庁

デジタル化は必要だと思うけれど、どこから手を付ければよいかわからない、どう進めればよいかわからない、といった中小企業の悩みにワンストップで対応するポータルサイト『みらデジ』をオープンします。まずは、スマホやPCから質問に回答するだけの「みらデジ 経営チェック」で、自社のデジタル化の進捗度を確認しましょう。弱みや課題を確認できたら、課題解決に向けて、専門家による無料相談「みらデジ リモート相談」も受けられます。

概要

「みらデジ 経営チェック」では、スマホやPCから5つの質問に回答するだけで、同地域・同業種の事業者と比較した自社のデジタル化の進捗度などを瞬時に確認いただけます。特別なアプリのダウンロードは不要です。どなたでも、無料でご利用いただけます。

「みらデジ 経営チェック」の結果で着手すべきネクストアクションを確認したら、次は専門家による無料オンライン相談「みらデジ リモート相談」を活用したり、『みらデジ』に掲載された各種支援策情報を参照したりしつつ、具体的なデジタル化に取り組んでみましょう。

『みらデジ』会員登録をすれば、「みらデジ 経営チェック」の結果や、「みらデジ リモート相談」で受けたアドバイス内容、各種支援機関から受けた支援内容などをマイページに保存できるようになり、より一体的できめ細かい支援を受けつつ、デジタル化を通じた課題解決を目指せるようになります。

※Gbizidを使うと、より簡単に会員登録ができます。

— みらデジ式 経営課題解決のための3つのステップ —

STEP 1 みらデジ経営チェック

あなたの会社の経営課題やデジタル化への取り組み状況を「みらデジ経営チェック」で確認しましょう。チェック後、利用者登録を行なうことで「マイページ」が作成され、チェック結果を保存できます。

STEP 2 専門家に経営相談

「みらデジ経営チェック」の結果を基に、各種支援機関の担当者や、「みらデジリモート相談」（みらデジ事務局）の専門家から、デジタル化の取り組みに向けたアドバイスや、補助金などの施策、ITツール機能のご紹介をします。

STEP 3 課題改善に取り組む

専門家からのアドバイスを基に、経営課題解決に取り組んでいきましょう。みらデジ事務局の専門家は、引き続きサポートを行ないます。

GOAL 経営課題解決

課題が解決された後の状況を、「みらデジ経営チェック」でもう一度チェックしてみることが可能です。もし新しい課題が発見されれば、再びご相談ください。

お問い合わせ先

『みらデジ』に関するお問い合わせは、以下事務局までお願い致します。

令和3年度 事業環境変化対応型支援事業（デジタル化診断事業）事務局

・電話番号：03-6262-6712

（受付時間：月～土 9:00～17:00）

・メール：mira-digi@pasona.co.jp

※令和3年度 事業環境変化対応型支援（デジタル化診断）事業は、
中小企業庁より採択され、株式会社パソナが事務局業務を運用しています。

担 当

中小企業庁 経営支援部 経営支援課長 松井

担当者：村山、細川

電話：03-3501-1511（内線5331）

03-3501-1763（直通）

◇ 第143回通商問題委員会の開催 ◇

第143回通商問題委員会が8月22日（月）にオンライン開催され（1）日本の繊維貿易の現状（2）各国とのEPA交渉状況等について説明があり意見交換が行われた。

1. 日本の繊維貿易の現況について

（1）輸出入全般の動向

① 2022年6月の現況

円ベースでは、輸出は前年同月比118.9%、輸入は128.3%で、単月で輸出、輸入共に増となった。ドルベースでは輸出前年同月比97.8%であり、円安の影響が示唆される。

輸出（円ベース）は、前年同期比114.7%、2019年通期では107.1%、2020年通期では122.6%となっており、輸出ではコロナ前の水準となっている。

一方、輸入は前年同期比112.4%と、同じく回復傾向にあるものの、2019年同期比では104.3%、2020年同期比103.4%となっており1月～6月期も増加傾向を維持した。

項目	2022年6月				2022年1月～6月			
	金額		前年同月比		金額		前年同期比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	89,481	668	118.9%	97.8%	470,463	3,825	114.7%	100.6%
輸入	350,753	2,620	128.3%	105.5%	2,057,970	16,786	112.4%	98.7%

② 繊維品別輸出入実績（2022年1月～6月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	122.3%	繊維原料	156.9%
糸類（紡績糸・合繊糸）	109.3%	糸類（紡績糸・合繊糸）	143.6%
綿糸	144.1%	綿糸	155.4%
毛糸	76.0%	毛糸	177.1%
合繊糸	114.7%	合繊糸	134.2%
織物	120.7%	織物	129.4%
綿織物	117.8%	綿織物	115.9%
毛織物	137.3%	毛織物	138.0%
合繊織物	122.7%	合繊織物	142.3%
二次製品	111.4%	二次製品	110.1%

(2) 各国・地域別輸出入の動向

① 輸出（2022年1月～6月累計 前年同期比（円ベース））

東南アジア（中国含む）：109.0%、米州：130.6%、欧州：123.9%、中国：107.7%、シェアは25.9%（前年比▲1.6pt）となっており、金額では前年同期を上回るもののシェアは微減である。

アセアン：110.6%、シェアは23.3%（前年比▲0.9pt）。輸出額増のシェア微減である。

前年同期対比はすべての国で100%以上となり、世界計でも114.7%となった。2019年同期比でも107.1%であり、輸出金額ではコロナ禍以前の水準に回復している。

③ 輸入（2022年1月～6月累計 前年同期比（円ベース））

東南アジア（中国含む）：112.0%、米州：133.0%、欧州：114.0%、中国：113.7%、シェアは54.6%（前年比+0.6pt）と輸入額、シェア共に増加傾向にある。東南アジア全体でも112.0%と増加傾向にある。

アセアン：106.0%、シェアは27.9%（前年同期比▲1.7pt）と輸入額、シェア共に減である。

前年同期対比で見ると、マレーシアが49.8%と大きく落ち込んでいるものの、中国を含む東南アジア、西アジア、米州、欧州他各地域で増加傾向となっており、世界計112.5%と増加した。

輸出額の2019年同期比は104.3%であり、輸出金額同様コロナ禍以前の水準に回復している。

2. 次回日程について

第144回通商問題委員会 日時未定

◇ 2022年9月「価格交渉促進月間」の実施について ◇

-価格転嫁を実現し、未来へ続く関係を-

令和4年8月24日

経済産業省

中小企業庁

中小企業における賃上げを実現するためには、下請中小企業が付加価値を確保できるよう、コストの適切な価格転嫁が必要不可欠です。特に昨今、原材料価格やエネルギー価格、労務費等が大きく上昇しており、下請中小企業へのしわ寄せを解消し、これらコスト上昇による負担をサプライチェーン全体で適切に分担するためにも、価格転嫁の実現は喫緊の課題です。来月9月の「価格交渉促進月間」において、これらのコストが適切に価格転嫁できるよう、発注側企業と受注側企業の価格交渉を促進します。

1. 概要

政府では、価格交渉が頻繁に行われている時期である9月と3月を「価格交渉促進月間」と定め、発注側企業と受注側企業の価格交渉、ひいては価格転嫁を促進しています。来月9月も「価格交渉促進月間」であり、昨今の原材料価格やエネルギー価格、労務費等の上昇分を、下請中小企業が適切に取引先に価格転嫁できるよう、発注側企業と受注側企業の価格交渉を促進していきます。

具体的には、下記の取組を行います。

2. 発注側企業への価格交渉及び価格転嫁への積極的な対応要請

経済産業大臣名で、7月に改正した下請中小企業振興法「振興基準」に則り、受注側中小企業との間での価格交渉や、価格転嫁に積極的に御対応いただくよう要請します。

3. フォローアップ調査（受注側中小企業への状況調査）の実施

9月中旬以降、受注側企業に対し、発注側企業との価格交渉の状況について、下記のフォローアップ調査を実施します。

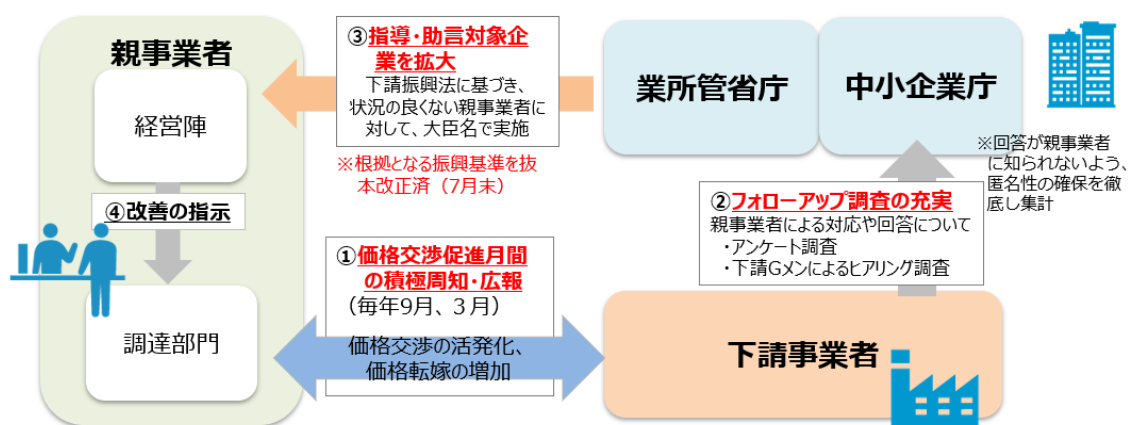
1. アンケート調査（受注側中小企業に15万社程度に対して配布し、発注側企業ごとに価格協議や価格転嫁についての具体的な状況を把握）。
2. 下請Gメンによる重点的なヒアリング（受注側中小企業2千社程度へのヒアリング、交渉・転嫁状況の実態を聴取）。

4. フォローアップ調査結果の公表や「指導・助言」の実施

上記3. のフォローアップ調査結果に基づき、下記を実施します。

1. 良い事例・問題のある事例の公表。
2. 業種ごとにアンケートの回答を数値化し、公表。
3. 受注側中小企業からの評価において、価格転嫁や価格協議の実施状況が良好でない個別の発注側企業の経営者に対し、事業所管省庁から下請中小企業振興法に基づく「指導・助言」による注意喚起等の実施。
4. 独占禁止法や下請代金法の違反が疑われる事案については、公正取引委員会と中小企業庁が連携して対処。

（参考）価格交渉促進月間の実施と改善のサイクル強化



5. 講習・研修・相談等

価格交渉促進月間の期間において、価格交渉や下請代金法に関する講習会、セミナー等も実施します。


講習会等の日程は以下「適正取引支援サイト」のページで随時公開していきます。

6. 発注側企業への周知

上記1から4に記載の内容等について、月間開始前からあらかじめ、業界団体を通じて、発注側企業へ幅広く周知します。

業界団体宛ての具体的な周知内容は「業界団体宛周知文」をご参照ください


関連資料

[業界団体宛周知文（PDF形式：644KB）](#) 

[価格交渉促進月間ポスターPDFファイル（PDF形式：9,045KB）](#) 

関連リンク

[令和4年3月「価格交渉促進月間」フォローアップ調査結果](#)

[適正取引支援サイト](#) 

[取引適正化に向けた5つの取組](#)

担当

中小企業庁事業環境部取引課長 鮫島

担当者：善明、別木、木暮

電話：03-3501-1511（内線 5291～7）

03-3501-1669（直通）

03-3501-6899（FAX）

◇ 2022年度織布運転技能審査試験の募集 ◇

本会は、2022年度織布運転技能審査試験の募集を、令和4年8月26日付4絹人織工連発第14号「2022年度織布運転技能審査試験の募集について」において募集案内を行った。

技能審査試験の概要については以下の通り。

1. 対象

「準備工程」「製織工程」「仕上工程」の運転業務に従事する者の有する技能で、受験資格は、1級が勤続2年以上、2級が勤続1年以上。

受験対象工程は、「準備工程」は整経、糊付から、また、「製織工程」は有杼織機、エアジェット式織機、ウォータージェット式織機、レピア式織機、グリッパー式織機から選択。

◎ 合格者に対する称号

- ・ 1級織布運転技士（準備工程）
- ・ 2級織布運転技士（準備工程）
- ・ 1級織布運転技士（製織工程）
- ・ 2級織布運転技士（製織工程）
- ・ 1級織布運転技士（仕上工程）
- ・ 2級織布運転技士（仕上工程）

2. 試験内容

(1) 学科（筆記）試験

学科試験は一般知識と専門知識に大別。

(a) 一般知識

繊維産業に従事するものにとっての基本知識で、範囲は以下の通り。

- ①繊維の種類と特徴 ②紡績の基本原理と糸の種類および特徴 ③製織の基本
原理と布の種類および特徴 ④統計的なものの考え方と工程管理 ⑤安全と衛生
など

(b) 専門知識

- ①機械の構造と作用（付属装置も含む） ②諸計算 ③試験・検査 ④運転管理
の心得、標準動作の手順 など

(2) 実技試験

	課題	1級	2級
準備工程	1	始業作業	始業作業
	2	運転作業	運転作業
	3	ビーム交換作業	ビーム交換作業
	4	異常時の処理判断	異常時の処理判断
製織工程	1	経系継ぎ作業	機台の始動及び停止作業
	2	緯系継ぎ作業	経系継ぎ作業
	3	切卸及び運搬作業	緯系継ぎ作業
	4	機台の見回り作業	機台の見回り作業
	5	異常時の処理判断	異常時の処理判断
仕上工程	1	始業作業	始業作業
	2	検査作業	検査作業
	3	格付け作業	格付け作業
	4	異常時の処理判断	異常時の処理判断

なお、既に学科（筆記）試験又は実技試験の合格者で本年度受験する者は、申請の際「一部合格証明書」のコピーを添付すれば、一部合格している学科試験又は実技試験が免除される。

受験料は、1級、2級ともに学科（筆記）試験が6,050円（税込）、実技試験が14,850円（税込）。試験実施の期間は2022年11月14日～12月16日の間を予定している。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更する場合があります。

3. 受験申込期日

2022年9月28日までに当会に申請書を送付。

動 向

- 6月28日 繊維評価技術協議会 2022年度総会、第2回理事会
- 7月12日 日本繊維産業連盟 第1回常任委員会
- 7月12日 日本繊維産業連盟 技能実習適正化・取引適正化推進委員会
- 7月20日 UAゼンセン／日本紡績協会 日本繊維産業会議
- 8月22日 日本繊維産業連盟 第143回通商問題委員会
- 8月26日 日本繊維産業連盟 幹事会

会議予定

- ☆ 当会 第2回日絹運営方針に関する検討委員会
9月22日（木）11時～13時 於：KKRホテル東京朱鷺の間
- ☆ 当会 工業会・連合会 理事会
10月21日（金）12時～14時 於：KKRホテル東京
- ☆ 日本繊維産業連盟 第2回常任委員会
12月15日（木）13時～17時
於：野村コンファレンスプラザ日本橋（ユイト日本橋）6F大ホール
- ☆ 日本繊維産業連盟 令和5年総会、新春講演会
1月24日（火）役員総会 14時30分～16時50分
新春講演会 17時～17時50分
賀詞交歓会 18時～19時30分
於：東京プリンスホテル

☆ 当会 日絹工業会・日絹連合会 理事会、懇談会

3月16日(木) 理事会 15時～17時

懇談会 17時～19時 於：KKRホテル東京

イベント

☆ 桐生織物 織姫展【京都展】

9月 7日(水) 9時～17時

8日(木) 9時～15時

会場：京都市 丸池藤井ビル 彩麗館

☆ 第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022

9月 7日(水)～9日(金) 10時～18時(最終日～17:00)

会場：東京ビッグサイト 東展示棟

☆ 桐生織物 織姫展【東京展】

10月 4日(火) 10時～17時

5日(水) 9時～16時

会場：綿商会館

☆ 北陸ヤーンフェア

10月 4日(火) 10時～17時

5日(水) 10時～16時

会場：石川県産業展示館3号館

☆ 桐生テキスタイルコレクション 2023

10月 6日(木) 10時～18時

7日(金) 10時～17時

会場：With HARAJUKU 3F Hall

☆ TANGO TEXTILE EXHIBITION 第73回丹後織物求評会

審査会・展示商談会

10月18日(火)～19日(水) 10時～17時

展示 一般公開

20日(木)～23日(日) 10時～16時

会場：丹後織物工業組合 旧和装棟 特設会場

☆ Intertextile Shanghai Apparel Fabrics Japan Pavilion 2022 Autumn Edition

10月21日（金）～ 23日（日） 9時～ 18時

会 場：中国 上海 国家会展中心

☆ JAPANTEX 2022

10月26日（水）～ 28日（金） 10時～ 17時

会 場：東京ビッグサイト 東展示棟

☆ JFW JAPAN CREATION 2023

11月 1日（火）～ 2日（水） 10時～ 18時

会 場：東京国際フォーラム ホール E1

☆ Premium Textile Japan 2023 Autumn/Winter

11月 1日（火）～ 2日（水） 10時～ 18時

会 場：東京国際フォーラム ホール E2

☆ 桐生織物 織姫展【京都展】

12月 7日（水） 9時～ 17時

8日（木） 9時～ 15時

会 場：京都市 丸池藤井ビル 彩麗館

官公庁・団体からの案内情報

《 経済産業省省 》

・ 事業再構築補助金

<http://jigyousaikouchiku.go.jp>

・ 新型コロナウイルス感染症関連

～経済産業省の支援策（2022年8月18日時点）～

<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

《 厚生労働省 》

・ 年次有給休暇取得促進特設サイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/kyuuka-sokushin/>

・ 働き方・休み方改善ポータルサイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>